



愛知県中央信用組合は、
持続可能な開発目標（SDGs）を
支援しています。

2022年6月20日
愛知県中央信用組合
理事長 宮地 秀夫

「認知症バリアフリー宣言」について

愛知県中央信用組合（理事長 宮地秀夫）は、認知症の人やその家族が安心して生活できる環境づくりを通じた「地域共生社会」の実現に向けて、「認知症バリアフリー宣言」を行いました。

1. 認知症バリアフリー宣言の目的

認知症バリアフリー宣言は、企業・団体が認知症バリアフリー推進に向けての方針や方向性を示し、それを「見える化」することによって、認知症の人やその家族にとって安心して店舗やサービス・商品を利用できるといった環境を提供するとともに、認知症バリアフリー社会定着への機運を醸成することを目的としています。



認知症バリアフリー宣言
ロゴマーク

2. 当組合の宣言内容

全役職員が、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」を目的とした「認知症サポーター養成講座」を受講し、認知症サポーターとして認定を受け、その証である「オレンジリング」を着用し業務に従事しております。

当組合は、認知症についての正しい知識をもち、認知症の人やその家族を支え、安心して暮らせるまちづくりに貢献します。

私たち役職員は、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人やその家族を温かい目で見守り、地域で認知症を支えるサポーターとして活動していきます。

1. 人材の育成

当組合役職員は、入組時の研修として「認知症サポーター養成講座」を受講し、認知症サポーターの認定を受けた職員が業務に従事します。

2. 地域連携

日々の訪問活動において、認知症サポーターとしての意識を持ち、声掛け・訪問を行います。認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かい目で見守り、地域で認知症を支えるサポーターとして活動していきます。

3. 社内制度

当組合は、今後、介護に直面する職員の増加が予想されることから、介護の現状や対応を理解し、仕事と介護の両立の実現に向けて、働きやすい職場環境の整備や行内制度の充実に取り組みます。

4. 環境整備

店舗設備のバリアフリー化に加え、認知症サポーターの認定を受けた職員が窓口対応や訪問活動を行い、安心してご利用いただける環境とサポート体制の整備等を通じ、認知症の方を含めた様々なお客さまやそのご家族が利用しやすい環境整備に努めます。

3. 認知症バリアフリー宣言ポータルサイト

<https://ninchisho-barrierfree.jp/>

以上